

編集顧問

生田 房弘	石塚 典生
糸山 泰人	内山真一郎
大友 英一	梶 龍児
金澤 一郎	高坂 新一
作田 学	島津 浩
杉田 秀夫	高倉 公朋
塚田 裕三	辻 省次
寺本 明	中里 洋一
中込 忠好	彦坂 興秀
平山 恵造	藤澤浩四郎
真柳 佳昭	水澤 英洋
水野 美邦	柳澤 信夫

編集委員

河村 満	(編集主幹)
神田 隆	桑原 聡
酒井 邦嘉	泰羅 雅登
三村 将	森 啓

編集同人

入来 篤史	岩田 淳
宇川 義一	内原 俊記
大隅 典子	岡部 繁男
木村 和美	久保 義弘
栗栖 薫	小林 靖
斉藤 延人	砂田 芳秀
高橋 良輔	瀧山 嘉久
武田 伸一	千葉 厚郎
平田 幸一	寶金 清博
星 英司	星野 幹雄
本田 学	松野 彰

(五十音順)

あとがき

病歴を正しく取ることは神経診察で最も大切なことの1つである。知識が正しい病歴聴取の邪魔になることもあるので要注意である。

K病院のカンファレンスが終わったときに、「勉強になりました」と症例提示した臨床研修医M君に言われて嬉しかった。病歴提示の前に「お母様と2人暮らしの男性で、まだ46歳の方です。お母様からの病歴が正しく取れませんでした」というエピソードをM君が述べた。病歴には「発症後すぐに片麻痺があるのに運転した」など、確かに不思議な内容が書かれていた。言語聴覚士によると、言語症状は運動性失語疑いのことであった。MRI 所見は左側頭頂側頭葉の脳梗塞を示唆していた。運動麻痺の責任病巣が明確ではない。SPECT は撮像していないので、機能的には運動領域に異常がある可能性がある、とM君が説明した。

病歴・画像についてのディスカッション後、患者が入室した。大柄な男性で、若い。歩行は少し小股ではあるが可能で、右上肢は動かさない。右手指のポスターが独特でピストル型である。私はいつものように、眼球運動から診察を始めた。異常はない。挺舌がまったくできない。しかし、ツバキを飲み込むのはごく自然で、診察中に唇をペロッと舐めるのを皆で確認した。ヒューリングス・ジャクソンが初めて記載した、口舌の失行症状典型症例である。

失語は明らかで、聴覚的理解が悪い。Yes-No 問題でも間違える。「はい」という発話がしばしばみられる。物品呼称が悪い。復唱では語の付加がみられる。例えば、「かさ」と言わずに「かささび」「かさめし」などと答える。これはウェルニッケ失語でよくみられる反応である。言語聴覚士が運動性失語疑いと見立てたのはわからなくもない。確かに聴理解障害に比較して発話症状がより重症である。しかし、発声、単音節・3音節の繰り返し検査から、失構音は明らかでない私は判断した。私の診断は全失語であった。失語のタイプ分けはこのようにしばしば診た人によって異なる。ウェルニッケ失語とブローカ失語との鑑別も容易ではないことがある。しかし、言語聴覚士も私も、この患者は速やかに言語症状が改善するであろうこと、言語療法が大切であることは見解が一致した。話せないが、話そうとする意欲が高いからである。病型分類も大切だが、失語の予後予測はもっと重要事項であると思う。

その後、上下肢の診察に移った。右上肢を動かすように指示しても動かせない。腱反射は上下肢で左右差がなく正常。筋トーンも左右差はなく正常。右手を動かすように指示してもできないが、左上肢の診察中に自然に右手を動かすことができる。ピストル型の右手指も、左手指を指折りさせるときにちゃんと開く。Automatico-voluntary dissociation (自動随意運動乖離) があることは確かである。左手の症状は運動麻痺ではなく、失行であったのである。

つまり、発症後すぐに運転できた、という母親の話はたぶん間違いなく、この点がむしろ大切な病歴であったのである。

帰途、満開の桜を眺めながら、同行のR君と正しい病歴聴取の大切さ、難しさを語りあった。(河村 満)

BRAIN and NERVE (第67巻 第5号)

2015年5月1日(毎月1回1日発行)

定価: 本体2,700円+税(送料実費)

2015年 年間購読料(送料弊社負担)

冊子版34,080円, 冊子+電子版(個人)39,080円/(共有)44,240円,

電子版(個人)34,080円/(共有)39,240円

※2015年より年間購読料は本体価格表示となります。

印刷所 (株)アイワード (011)241-9341

広告申込 (株)ハイブリッジエージェンシー (03)3814-0089

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通(03)3817-5701 (小藤・小路・山崎)

販売部直通(03)3817-5659

FAX (03)3815-7802

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn>

オンライン投稿 ID: brain パスワード: nerve

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2015, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- JCOPY** <出版者著作権管理機構委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は, その都度事前に出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- ※「BRAIN and NERVE」は株式会社医学書院の登録商標です。

『BRAIN and NERVE』誌 読者アンケート用紙

日ごろよりご愛読いただきありがとうございます。今後の誌面充実のためご意見をお寄せください。ご回答いただいた方の中から抽選で図書カードを進呈いたします。

FAX：03-3815-7802 医学書院「BRAIN and NERVE」編集室宛

計1枚

1. 当てはまるものに○をつけてください（年齢、ご所属、ご専門）

■ご自身について

- 1) 年 齢 a. 20代 b. 30代 c. 40代 d. 50代 e. 60代
2) ご 所 属 a. 大学 b. 勤務医 c. 開業医 d. 研究機関 e. その他（ ）
3) 専門領域 a. 神経内科 b. 脳神経外科 c. リハビリテーション科 d. 基礎領域
 e. その他（ ）

■雑誌について

4) 読みやすさ（全体の印象）

非常によい 普通 非常に悪い
5 4 3 2 1

5) 価格

高すぎる 内容相応 安い
5 4 3 2 1

2. 現在購読されている雑誌名をご記入ください。

3. これまでに弊誌で掲載した特集，論文・連載などのなかで，印象に残るものがございましたらご記入ください。

4. 弊誌に対するご意見，ご要望（取り上げてほしいテーマなど），現在ご興味のあるトピックスなどございましたらご記入ください。

ご 芳 名：

ご 連 絡 先：

*ご記入いただいた個人情報は、アンケート記念品の発送および新刊案内の送付等に使用させていただきます。なお詳しくは弊社ホームページ（<http://www.igaku-shoin.co.jp>）掲載の個人情報保護方針をご参照ください。